

< 報道発表資料 >

令和 8 年 1 月 2 7 日

山科区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会

事務局：京都市子ども若者はぐくみ局
子ども若者未来部育成推進課

「山科発見！はぐくみかるた」が完成しました！

～山科区の学校等へ配布し、「山科愛」をはぐくむツールとして活用します～

この度、山科区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会において、令和 2 年度から準備を進めてきた「山科発見！はぐくみかるた」が完成しました。

山科区の幼稚園・保育園、小・中学校、児童館等は無償配布します。今後は子どもたちの遊ぶツールとしてだけでなく、地域学習の教材や多世代が集まる地域交流イベントでの体験会など、幅広く活用することを目指します。

【概 要】

●目的

- (1) 地域への理解と愛着の向上: かるた遊びを通じて、「山科っていいな」と感じる地域愛を醸成
- (2) 文化・歴史の再評価と継承: 地域資源を再発見し、住民と地域の誇りを再構築
- (3) 世代間のコミュニケーション促進: 高齢者と子どもがつながる機会を提供し、地域コミュニティを強化

●制作物

- (1) 「山科発見！はぐくみかるた」
 - ・読み札及び絵札は、山科区にお住まいの方や京都橘大学の学生のアイデアを基に作成しました。
 - ・裏面の二次元コードから、絵札の詳細、画像や詳細リンクなどを掲載したホームページにアクセスできます。
- (2) 活用マニュアル及びマップ
 - ・「活用マニュアル」には、かるたの様々な遊び方などを例示しました。「マップ」は、かるたに登場する史跡・自然・文化・施設等を記載しました。

●配布先

山科区の幼稚園・保育園、小・中学校、児童館等 約 135 施設



●協賛団体

山科経済同友会、京都東山ロータリークラブ、京都洛東ライオンズクラブ、
洛和会音羽病院、山科区自治連合会連絡協議会、京都市 PTA 連絡協議会山科支部

* 協賛金により、かるた 1000 部を製作

【その他】

●これまでの経過

令和 2 年度から、山科区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会において、「地域の記憶と誇りを子どもたちへ手渡す」ための大切なツールとして、これから子どもたちへ伝えたい、残したい山科を吟味し、厳選したかるたづくりが始動しました。令和 6 年には試行版のかるたを使った各種地域団体主催のイベントや様々な体験会等が山科区内で実施されるようになり、このたびの正式版の完成に至りました。



<お問合せ先>

京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課

電話：075-222-3866

<参考>

●京都はぐくみネットワークについて

子どもの健全育成に関わる団体をはじめ幅広い分野から134の幹事団体（令和7年6月末現在）が参画し、「京都はぐくみ憲章（子どもを共に育む京都市民憲章）」の理念の下、子どもを取り巻く様々な課題の解決のための研修会や情報発信を展開しています。さらに、13の行政区・地域で組織されている実行委員会が地域に根差した取組や啓発活動等を実施しています。

京都市情報館

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000265490.html>

●山科区「はぐくみ」ネットワークについて

京都はぐくみネットワークの中の行政区団体のひとつです。地域で子どもたちを見守る団体（PTA 連絡協議会・おやじの会、少年補導委員会、ボーイスカウト、青少年活動団体、地域子育て支援団体など）から代表者が集い、小学校4年生～6年生を対象とした「薬科大学理科実験講座（共催：京都薬科大学）」や小学6年生を対象とした「山科区伝統文化能楽体験」を開催するほか、ふれあい“やましな”区民まつりへの出展等を通じて「京都はぐくみ憲章」の大切さを広めています。

具体的な活動は、京都はぐくみネットワーク公式 note をご覧ください

https://note.com/hagukumi_bunka